

■新緑の季節、 10周年記念総会へ出掛けよう！

東京インテリアプランナー協会
会長 中川 誠一
1995年2月4日、JIPAT/東京インテリアプランナー協会は誕生し、早いもので今年で10年目を迎えます。この間、会員の皆さんの努力と熱意により、IPの社会的地位の確立、IPの育成と教育、そして、IP相互の親睦・交流を図るための研修会・講演会・見学会、さらに出版物の発行など、正会員、賛助会員による活発な活動を行い、質の高い素晴らしい実績が積み重ねられてきました。また、IPEC21への協力など、その存在が少しずつ世間に認知されてきました。さて、この10周年を記念して、来る5月29日(土)に総会、記念シンポジウムそして交流会を催すことにいたしました。シンポジウムは「東京

のデザイン～温故知新」と題し、東京やヴェネチアの都市を研究している、法政大学工学部建築科教授の陣内秀信さんと、気鋭のインテリアデザイナーの橋本夕紀夫さんをお迎えし、IPの志村美治さんと共に、私たちの活動拠点である東京を見直し、私たちに何ができるかを考えるトークシンポジウムを、アールデコの館である旧朝香宮邸の東京都庭園美術館で開催します。この建物も魅力的ですが、記念シンポジウムと交流会の中身も魅力が満載です。若手IPのプレゼンテーション、デザイナーズバンドの演奏やお楽しみな賞品もたくさん用意してあります。盛りだくさんの企画で土曜日となりましたが、新緑の季節、庭園を散策し皆さんと楽しく交流するのを楽しみに、さあ、お隣にも声をかけて出掛けましょう。

●日時：2004年5月29日(土)

●場所：東京都庭園美術館ホール
(JR・地下鉄南北線・東急目蒲線
目黒駅から徒歩7分)

1. 平成15年度通常総会：
14:00～15:20
(13:30より受付開始)

2. 記念行事

○第1部

記念トークシンポジウム

15:30～17:30(15:00より受付開始)

テーマ：「東京のデザイン」

～温故知新

休憩 庭園など鑑賞。

17:30～18:00

○第2部

記念交流会

18:00～20:30(立食パーティー)

都市図画家、立川博章氏が描いた江戸鳥瞰図の展覧と氏による解説。東京にまつわる新旧のヒットソング等の演奏、賞品抽選会など。

20:30閉会。

●会費：8,000円

(シンポジウムのみ参加のビジターは一般3,000円、学生1,000円)

●申し込み：ファクシミリにて5月14日(金)までに事務局にお申し込みください。参加範囲と必ず返信先を明記してください。

●JIPAT 東京インテリアプランナー協会事務局
Tel:03-3446-8860 Fax:03-3446-1417

■必聞！シンポジウム

《インテリアプランニングの考えが
東京のデザインを変える？》

「空間人類学」の観点から東京の都市構造を明らかにする陣内秀信先生に、気鋭のデザイナー橋本夕紀夫さんと志村美治さんが挑み、これからの東京のデザインを描き出す2時間。お見逃しなく！！

実行委員長 浦 一也

テーマ：

「東京のデザイン」～温故知新
パネラー：

陣内秀信氏、橋本夕紀夫氏、
志村美治氏

・陣内秀信

1947年福岡県生まれ。73年～75年ヴェネツィア建築大学に留学。76年ユネスコのローマ・センターを経て帰国。83年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。同大学工学部助手を経て、現在法政大学工学部建築学科教授。主な著書：「東京の空間人類学」「都市を読む・イタリア」「ヴェネツィアー水の迷宮都市」「都市の地中海」など多数。

・橋本夕紀夫

1962年愛知県生まれ。86年愛知県立芸術大学デザイン科卒業、スーパーポテト入社。96年橋本夕紀夫デザインスタジオ設立。JCD

優秀賞、奨励賞など受賞多数。主な作品に「軍鶏匠」、「橙家」、「ビームスハウス」、「相田みつを美術館」、「うおがし銘茶」など。

・志村美治

1954年神奈川県生まれ。79年武蔵野美術大学大学院造形研究科卒業、清水建設入社。85年チャダ・シエンビエナアソシエイツ。89年よりフィールドフォー・デザインオフィス デザインディレクター。本会理事。主な作品に「資生堂パーラー銀座4丁目店」、「上野精養軒」、「テレビ東京天王洲スタジオ」、「慶應義塾大学日吉来住舎」、「トヨタ車体開発センター技術本館」など。

■ 3 分間のタイムスリップ
クイーン・アン様式 (1702 ~ 14)

i & i インテリア総合デザイン室 井上 常雄

ウィリアム 3 世がハンプトン・コート宮殿の周辺で乗馬をしているとき、馬が誤ってモグラの穴に脚を突っ込み、そのはずみで落馬してそれが原因で他界。

メアリーの妹のアンが王位を継承するも、スペイン継承戦争は続いており、(ルイ 14 世が自分の孫をスペイン国王を継がせようと策謀) 財政は逼迫しており、税の徴収をあらゆる場所から探し出し正当化した。笑えるのは現在タバコで有名なモールバラ公が戦果の褒美として、



このコーナーチェアは、部屋のコーナーに備えつけた、菱形のシートをつけたアームチェアで、何脚か置き、おしゃべりを楽しんだようです。

て、荘園を下賜され、そこにプレムナム宮殿を建築した。そこに窓税なるものを導入した。以後窓にレンガをはめ込んで税をの

がれる建物が増えていった。

この時代もオランダとの交流は続き、その影響を受けながらもアン女王のクラフトマン達は、これまでのイギリスにはみられなかった最も精緻で優美な家具を生産した。

ジャコビアン様式以来、イギリス家具の形態を特徴付けてきたスパイラルやバルスター、ポビンなどの

挽物加工を施した脚は、この時代の初期まではみられたがしだいに減り始め、ガブリエール・オールレッグ、ブラケット、パッド・フット、クラブ・フットに変わった。



Bracket foot
トールボーイ

このうち、ガブリエール・オールレッグはとくに支持され、いすを中心に他の家具にも多く用いられた。豪華な家具のカブリオールレッグの脚の膝部には彫刻が施されたが、そのモチーフは帆立て貝の殻や、変則の C 字形模様、アカンサスなどである。脚の先はクラブ型か、クロー・アンド・ボールの形態になっている。椅子はハイバックが多く、その背は当時の婦人のヘアスタイルに調和させるため円いアーチ型のフープバックで枠取りされ、その中心に縦長の切抜き細工で装飾した平板を取り付けた。これをスプレットバックといい、花びんや楽器の形状をモチーフにした。これらの背板は側面からみて、背当りをよくするために曲面加工が施された。

1710 年以後つくられたカブリオールレッグのいすは、フレームの改良によってぬきが不要になり、軽快

さが増して一層洗練され、優美なデザインとなった。またこの様式は装飾より日常生活に適合する機能性を重視



この時代はサロンの時代と言われているように、社交生活が盛んになり、珈琲テーブルやティテーブルが現われた。また、トランプを楽しむカードテーブルや、ワーキングテーブルなど、テーブルデザインの黄金時代であった。

し、美と機能を見事に統一させている。表面の布地はフランスバロックと同様のゴプラン織りやベルベット、ビロードである。この他、小さなティーテーブル、この時代に大流行したといわれる陶器のコレクションを飾るためのチャイナキャビネット、セクレタリー、本棚、トールボーイといわれる背高の 2 段重ねたんすなどがあげられる。これらの家具は、主としてウォルナットでつくられ、他はオーク、クワ、クリの類である。化粧張りや寄木細工は依然として盛んで、同じ木



Pad Foot
Club Foot

目模様の単板を左右対称に張るパターン張りが、流行り初めた。

■ インテリア見学記

「見てよし、食べてよし、女将さんよし！」
～埼玉県寄居 京亭

羽沢昌子
「京亭」は「君恋し」の作曲で有名な浅草オペレッタの創始者の作曲家・佐々紅華の自邸だった建物で、現在は料理旅館になっています。建物は紅華自身の設計によるもので、昭和 6 年に着工し、同 8 年からは紅華自身が住みながら同 11 年まで工事が続いたそうですが、実は未完成のまままだそうです。



写真にあるように、二階は壁が下塗りのままになっています。しかし、この未完成の壁が妙にモダンで、逆に不思議な魅力になっています。また、紅華は作曲家以前に広告図案家としても活躍していたそうで、障子や窓などの各部にも凝った面白いデザインがされていました。建物はどこを見ても面白く、外からしげしげと眺め、内部をなめるように見て廻りふと二階の窓から外を見ると、なんと景色のよいこと。荒川を借景に、こじんまりとした日本庭園がとてもよくあっています。ほぼ南を向いているので、月見にはもってこいの眺めだそうです(残念ながら行った日は雨でした)。

そして、名物「鮎飯」のおいしいこと。鉄鍋で炊きこんだご飯に目の前で女将さんが鮎をほぐして混ぜてくれます。アツアツで、とてもよい香りでした。この女将さんがまたとてもよい方で、チェックアウトの時間を聞くと、「10時ですが、時間で直ぐに追い出すようなことはし

ませんから、ごゆっくりどうぞ」とやさしい笑顔で応えてくれました。



■ 編集後記

今回のニューズレターは 10 周年記念総会へ向けてのお誘い特集となりました。盛りだくさんの行事には見所、聞所、遊び所がたくさん、楽しみですね。仕事が忙しくてなかなか会の活動に参加できない方も、新緑の土曜日の午後、楽しんで見られてはいかがでしょうか？ また、今回のシンポジウムはインテリアや建築を学ぶ学生にも聞いてもらいたい内容です。お知り合いの学生さんにご案内して欲しいと思います。

情報委員会 羽沢